

議案第 2 号

横手北スマートインターチェンジ整備効果及び利用促進策について

【要旨】

昨年度の横手北スマート I C 地区協議会で承認いただいた、横手北スマートインターチェンジの利用促進策の実施状況と、データ収集等により検証を行った整備効果について報告するとともに、今後の利用促進策を協議いただくもの。

▼利用促進策

①横手北スマート I C の周知徹底・強化

- ・横手北スマート I C 利用促進のためのチラシを作成し、高速道路サービスエリアやパーキングエリア、道の駅に設置し、チラシデータを高速道路サービスエリアやパーキングエリアのデジタルサイネージで掲示。
- ・横手北スマートインターチェンジ利用台数 50 万台達成記念イベントを実施。
- ・市広報誌「市報よこて」や市ホームページ等で横手北スマート I C を周知。

▼整備効果

①供用開始 2 年目の利用状況

- ・横手北スマート I C の 1 日あたりの平均利用交通量は、計画交通量 970 台/日に対し 780 台/日（▲190 台/日）。
- ・横手北スマート I C と前後 I C（横手 I C ・大曲 I C）の 1 日あたりの平均利用交通量合計は、横手北スマート I C 開業前の約 10,600 台/日に対し 8,540 台/日（▲2,060 台/日）。

②高速道路の利便性向上

- ・高速バス湯沢秋田線の運行時間が 7 分短縮。
- ・高速バス全体の利用者数は 4 割以上減っているが、旭 BS 停留所利用時に比べ、横手北インター停留所の利用者数は約 5 倍に増えている。

③地域活性化の支援

- ・9月のPR活動（チラシ配布）により、10月以降の横手北スマート I C の利用が増加傾向。
- ・種苗交換会に伴い、開催期間の土日利用台数が増加。横手市が主会場となることで一定程度の周知が図られた。

④医療支援の強化

- ・横手北 S I C の整備は、第三次救急医療施設※である平鹿総合病院からの 30 分圏域が拡大する等、救急医療活動を支援している。

▼今後の利用促進策

- ①秋田市及び横手市等の卸売市場出入り業者、物流事業者等への PR 活動の実施。
- ②湯沢市周辺の卸売市場出入り業者、物流事業者等への PR 活動の実施。